

も			っ	な		綾			は		い		いた	く	け	え	な				り	
好	脱	「	た	顔	綾	の	怒		い		た		た	に	に	、	か	流	「		し	M
き	ぐ	分	°	を	も	方	気		か		°		°	は	、	人	っ	石	こ	え	た	と
な	し	か		し	困	を	を		な		プ		レ	電	いた	が	た	に	こ	こ	°	は
丈	か	り		て	っ	見	含		い		イ		イル	灯	ず	通	°	、	で			言
志	な	ま		、	た	た	んだ		°		ム		ー	が	ら	っ	夜	はい	だ			え
だ	い	し		丈	よう	°	レ				や		ム	置	や	中	で	°	よ			、
っ	°	た		志	な		イ				S		や	かれ	盗	で	人	わ	全			予
た	覚	°		を	、		カ				M		や	、	難	通	り	かり	部			想
の	悟	脱		黙	で		の				ス		S	煌	除	の	の	まし	ね			外
で	を	ぎ		っ	も		声				ナ		M	々	け	場	少	した	「			の
、	決	ま		て	ち		に				ッ		ス	と	の	所	ない	と				言
す	め	す		見	よ		、				ク		ナ	辺	た	で	場	簡単				葉
ば	れ	「		つ	っ		丈				の		ッ	りを	め	あ	所	に				に
や	ば			め	と		志				よう		ク	を照	か	る	と	脱				丈
く	、			返	楽		は				に		の	らし	、	°	は	げ				志
グ	野			す	し		困				う		の	て	直	お	い					は
レ	外			だ	そ		っ				に		よう	近	ぐ	ま						び
ー	露			け	う		て				に		に	て	近							っ
の	出			だ	う						に		に	て	近							く

	セ	ミ	ビ	キ	ニ	ブ	リ	ー	フ	一	枚	に	な	っ	て	、	最	後	の	一
	枚	も	脱	ご	う	と	し	た	。	そ	の	時	、							
	「	ほ	ら	見	ろ	」														
	丈	志	は	S	M	ス	ナ	ッ	ク	で	実	験	台	の	話	を	聞	い	て	
	か	ら	、	ず	っ	と	勃	起	し	て	濡	れ	っ	ぱ	な	し	に	な	っ	て
	た	の	で	、	ブ	リ	ー	フ	に	も	の	凄	く	大	き	な	シ	ミ	が	出
	来	て	い	た	。															
	「	変	態	野	郎	だ	よ	な	。	お	仕	置	き	を	し	て	や	ん	な	
	く	ち	ゃ	な	」															
	パ	ン	ツ	の	後	、	靴	下	と	靴	も	脱	が	し	て	、	丈	志	を	
	全	裸	に	さ	せ	る	と	、	レ	イ	カ	は	、	同	じ	く	迷	彩	柄	の
	バ	ッ	ク	か	ら	麻	縄	を	取	り	出	し	て	、	鉄	柵	に	、	丈	志
	の	両	手	首	と	両	足	首	を	大	の	字	の	様	に	縛	り	つ	け	、
	腰	の	部	分	に	も	縄	を	巻	い	て	完	全	に	動	け	な	い	よ	う
	に	し	た	。																
	丈	志	は	、	こ	の	時	に	な	っ	て	、	レ	イ	カ	が	完	全	に	
	酔	っ	て	い	る	こ	と	に	気	が	付	い	た	。	既	に	綾	に	確	認
	を	取	る	こ	と	を	省	略	し	て	、	自	分	の	欲	望	の	赴	く	ま
	ま	に	行	動	し	て	い	た	。											
	し	か	し	、	レ	イ	カ	と	よ	く	一	緒	に	飲	み	に	行	く	綾	

レ		た	い	っ	わ	は	の		様		わ		葉		た			見	は
イ	し	°	た	て	な	な	デ	ミ	の		り	「	に	ず	°	レ	「	守	、
カ	か		の	い	か	い	ニ	ニ	方		に	だ	、	っ		イ	綾	っ	あ
に	し		だ	る	っ	の	ム	ス	が		く	か	流	と		カ	、	て	ま
負	、		°	時	た	で	ス	カ	喜		わ	ら	石	黙		が	？	いた	り
け	手		そ	に	°	、	カ	ー	ぶ		え	パ	に	っ		綾	「	の	驚
て	の		れ	、	し	綾	ト	ト	だ		さ	ン	驚	て		を		だ	いた
、	平		を	綾	か	も	な	で	ろ		せ	テ	い	いた		振		が	様子
綾	で		見	も	し	別	の	、	う		る	ィ	て	綾		り		°	子
は	、		ら	下	、	に	で	ぴ	か		ら	こ	声	も		向			も
黒	無		れる	着	ス	ノ	、	た	さ		°	い	を	、		い			なく
い	言		の	を	ナ	ー	中	っ	「		私	つ	あ	レ		て			、
レ	の		が	濡	ッ	パ	が	と			の	に	げ	イ		、			静
ー	請		恥	ら	ク	ン	覗	し			より	猿	た	カ		手			か
ス	求		ず	し	で	に	か	た			憧	ぐ	°	の		を			に
の	を		か	て	丈	なる	れる	フ			れ	つ		意		伸			二
パ	繰		し	しま	志	のは	こ	オ			の	わ		外		ば			人
ン	り		か	ま	を	は	と	ル			綾	の		な		し			を
テ	返		かつ	って	鞭	構		ム				代		言		て			
ィ	す				打										き				

を	脱	い	だ	。	渡	す	時	に	、	濡	れ	た	こ	と	が	分	か	ら	な
い	よ	う	に	、	丸	め	て	。											
	「	優	し	い	だ	ろ	。	懂	れ	の	綾	様	の	パ	ン	テ	イ	だ	。
口	を	開	け	ろ	「														
	流	石	に	綾	の	下	着	ま	で	は	、	レ	イ	カ	も	チ	エ	ッ	ク
せ	ず	、	綾	か	ら	受	け	取	っ	た	ま	ま	、	丈	志	の	顔	の	前
に	パ	ン	テ	イ	を	持	っ	て	い	く	と	、	口	の	中	に	黒	い	固
ま	り	を	押	し	込	ん	で	い	っ	た	。								
	「	ほ	ら	見	ろ	、	丈	志	、	こ	ん	な	に	喜	ん	で	い	る	「
	レ	イ	カ	が	オ	チ	ン	チ	ン	を	指	さ	し	て	、	綾	を	振	り
向	い	た	。																
	見	つ	か	っ	た	ら	ど	う	し	よ	う	と	い	う	心	配	か	ら	、
全	裸	に	な	っ	て	か	ら	少	し	固	さ	を	失	っ	て	い	た	オ	チ
ン	チ	ン	が	、	綾	の	下	着	を	口	の	中	に	入	れ	ら	れ	て	、
固	さ	を	取	り	戻	し	始	め	て	い	た	。							
	「	い	や	ゝ	も	う	変	態	、	最	低	「							
	そ	う	言	い	な	が	ら	も	、	綾	の	顔	は	、	ま	ん	ざ	ら	嫌
そ	う	な	顔	は	し	て	い	な	か	っ	た	。							
	「	変	態	に	は	罰	だ	な	「										
そ	う	言	う	と	、	レ	イ	カ	が	丈	志	の	右	の	乳	首	に	噛	

見	0		つ	の	り		ま	イ	の		ラ		た		感	か	は		の	み
つ	分	し	か	時	付	そ	る	を	住		イ		°		触	ら	、	左	つ	
か	も	か	し	は	け	の	で	し	む		ベ				、	は	激	の	い	
ら	か	、	、	、	ら	地	べ	た	地		ー				全	こ	痛	の	て	
な	か	今	、	蚊	て	方	モ	こ	方		ト				て	の	だ	乳	き	
い	ら	は	心	多	放	市	ノ	が	に		で				が	上	っ	首	た	
方	な	、	配	さ	置	の	に	あ	行		苛				性	の	し	み	°	
が	い	こ	は	が	さ	時	ら	っ	き		め				感	暖	、	つ	そ	
お	都	こ	と	気	れ	は	な	た	、		も				を	か	い	を	見	
か	心	は	な	に	こ	、	か	が	山		ら				高	さ	、	て	た	
し	も	渋	ん	な	と	白	っ	、	の		っ				め	、	、	き	綾	
い	都	谷	ど	だ	る	昼	た	そ	奥		て				い	胸	そ	た	も	
の	心	駅	な	け	だ	、	°	れ	で		い				っ	を	れ	°	、	
だ	な	か	っ	で	も	全		と	の		た				た	く	は		直	
°	の	ら	た	、	あ	裸		今	野		時				°	す	丈		ぐ	
こ	だ	歩	°	人	っ	で		回	外		、					る	に		に	
ん	°	い		に	、	木		で	プ		そ				髪	の	と		丈	
な	人	て		見	そ	に		は	レ		の				毛	の	っ		志	
丸	に	1				縛		、			人				の	鼻	て			
見																				

身	ベ		た		と	爪		上	が		が	通	つ		い	い	で	視		え
も	ッ	レ	悲	パ	、	を	乳	の	付		ら	報	た	ま	て	た	、	界	丈	で
裸	ク	イ	鳴	ン	今	た	首	興	く		、	す	が	ず	し	顔	自	に	志	明
で	に	カ	が	テ	度	て	を	奮	と		こ	る	、	い	ま	を	分	、	の	る
、	も	と	漏	ィ	は	て	嚙	を	、		っ	で	カ	と思	っ	し	と	不安	い	場
オ	丈	綾	れた	を	肩	き	み	感	人		ち	も	ッ	っ	た	て	同	通	所	所
チ	志	が	た	口	に	て	な	じ	に		を	なく	プ	て	。	、	じ	り	で	。
ン	が	丈	。	に	噛	、	が	て	見		楽	、	ル	一		自	よ	、		
チ	上	志		入	み	綾	ら	し	ら		し	何	が	瞬		分	う	ふ		
ン	半	の		れ	つ	は	、	ま	れ		そう	か	逃	素		た	な	と		
を	身	体		ら	い	乳	レイ	っ	て		に見	こ	げる	に		ち	年	、		
を	だ	か		れた	て	首	カ	た	い		つめ	そ	でも	戻		を見て	齢	目		
勃	け	ら		丈	きた	を	が		と		て	そ	なく	り		いる	の	を		
起	で	、		志	。	嚙	丈		逆		い	と	、	か		の	カ	開		
さ	は	離		の		む	志		今		る	話		け		に	ッ	け		
せ	な	れ		く		の	の		ま		の	を	警	た		気	プ	た		
て	く	る		ぐ		を	脇		で		気	察	察	丈		付	ル	丈		
い	、	と		も		や	腹		以		の	し	に	志		に	が	志		
る		、		っ		め	に				な	な		だ		気	、	の		
の	下	ア				る										付	驚			
が	半																門			

く	を	も			さ		て	も			ン					っ		納	も		離
つ	我	び	不	「	を	丈	燃	自	毛		の	レ	「	丈		て	「	め	嬉	そ	れ
と	慢	っ	意	ね	笑	志	や	分	の	燃	毛	イ	じ	志		い	な	て	し	の	て
し	す	く	に	え	わ	は	し	の	ラ	え	を	カ	や	は		た	あ	い	そ	瞬	は
て	る	り	声	ね	れ	、	て	ライ	イ	る	燃	が	あ	領		よ	、	た	う	間	い
目	た	し	を	、	て	熱	、	ター	タ	、	やし	ラ	、	い	な	「	°	表	の	、	も
を	め	て	け	お	興	さ	二	ー	ー	嫌	始	イ	遠	て				情	ア	丸	見
開	に	後	ら	姉	奮	と	人	を	取	な	め	ター	慮	答				を	ベ	え	え
け	目	ろ	れ	さん	の	怖	し	取	り	勾	た	を	なく	え				、	ッ	にな	にな
た	を	を	て	、	方	さ	て	出	す	い	°	取	燃	た				丈	ク	つ	つ
°	閉	振	流	何	が	より	大	す	と	漂		り	やし	°				志	の	た	°
	じ	り	石	し	強	も	笑	と	、	い		出	ち					は	女	°	
	て	向	の	て	か	、	い	、	自	始		す	や					し	性		
	いた	き	レ	る	っ	分	た	一	の	め		と	お					っ	の		
	丈	、	イ	の	た	情	°	緒	け	た		、	う					か	い		
	志	怖	カ	「		な		にな				が	「					り	や		
	も	さ	と					つ				、						と	ら		
	、	さ	綾															目	し		
	び	さ																に	く		

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

に			で		オ				ゾ			し	ろ	ち		な		し	て	焦	
出	レ	「	す	「	チ	ま	「	「	だ			て	か	に	「	い		っ	、	が	全
し	イ	そ	よ	あ	ン	だ	う	え	か			、	、	見	可	で	「	か	三	さ	裸
て	カ	う	ね	の	チ	身	ん	ゝ	ら			い	見	ら	愛	す	え	り	人	れ	で
だ	が	よ	「	、	ン	を	、	で	だ			や	も	れ	く	か	、	と	は	な	縛
し	領			見	に	寄	立	か	よ			ら	ら	て	て	も	可	目	流	が	ら
て	いた			ら	再	せ	派	く	「			し	っ	、	も	愛	を	石	に	も	れ
答	だけ			れ	度	合	。カ	な				い	て	恥	変	い	見	驚	も	、	、
え	け			、	集	い	リ	い				液	、	ず	態	で	開	い	勃	起	し
た	だ			こ	中	な	凄	で				を	チ	か	は	す	いて	して	起	し	か
。	っ			の	し	が	い	す				垂	ン	し	変	よ	丈	身	て	、	も
	た			人	て	ら	よ	か				ら	コ	く	態	ね	志	を	い	る	オ
	の			、	いた	も	ね	「				し	ま	て	な	「	を	寄	る	い	チ
	で			喜	。	、						て	す	小	の		見	せ	る	る	ン
	、			ん		三						る	ま	さ	。ほ		つ	た	丈	志	の
	綾			い		人						で	す	く	ら、		め	。し	志	を	毛
	言			る		の						し	大	なる	君		て	か	見		を
	葉			ん		視						マ	き	ど	た		いた	し、			

た		何	ー	バ		と		近			を	シ	三		ね		し	も	っ	
丈	い	か	を	ッ	一	可	「	く	最		取	ャ	人	レ	「	、	、	、	、	「
志	き	を	取	ク	番	愛	う	に	初		り	ッ	と	イ	い	絶	多	、	初	だ
の	な	書	り	か	睫	く	ゝ	携	は		始	タ	も	カ	い	対	分	、	め	っ
こ	り	き	出	ら	の	な	、	帯	全		め	ー	携	の	い	友	信	て	た	た
と	オ	始	す	写	長	い	や	を	身		た	音	電	言	い	達	じ	見	ら	ら
な	チ	め	と	真	い	よ	っ	か	を		°	を	話	葉	い	に	て	た	、	、
ど	ン	た	、	に	子	ね	ぱ	ざ	、			奏	電	に	、	話	も	ん	写	真
、	チ	°	オ	も	が	「	り	し	そ			で	話	、	言	し	ら	で	真	撮
何	ン		チ	書	、		ア	て	し			な	取	っ	た	た	え	す	っ	っ
も	を		ン	け	携		ッ	ア	て			が	り	た	だ	い	な	け	て	い
気	捕		を	る	帯		プ	ッ	、			ら	出	子	し	ん	い	れ	い	い
に	ま		ヲ	ブ	を		に	を	オ			、	す	だ	、	で	し	ど	、	、
せ	れ		を	ラ	一		す	と	チ			丈	と	け	は	す	、	友	達	す
ず	、		掴	ッ	旦		と	、	ン			志	、	、	「		ち	達	に	か
に	び		み	ク	し		、		の			の	間	で			よ	に	言	°
、	っ		、	の	ま		ち		直			裸	の	は			ー	言	マ	ゾ
娘	く		亀	マ	う		よ		ぐ			写	抜	な			珍	っ		
は	り		頭	ー	と		っ					真	け	く			し	て		
マ	し		に	カ	、								た	、			い			

レ	「	ど	「	は	の	の	最	カ	興		き	そ	「	な	亀	ん	チ	オ		「	「
イ	あ	い	あ	終	記	顔	後	と	味		さ	う	か	顔	頭	な	ン	チ	「		
カ	あ	い	の	了	念	を	は	綾	を		れ	言	わ	が	の	に	ン	ン			
は	い	で	、	し	撮	隠	娘	も	そ		た	い	い	描	先	作	を	を			
視	い	す	私	た	影	し	二	、	そ		オ	な	ー	か	を	品	九	十			
線	よ	か	、	°	を	な	人	緒	ら		ン	が	「	れ	上	を	度	位			
で	「	「	ビ		綾	が	が	に	れ		ン	ら		て	に	見	に	根			
綾			ン		が	の	そ	な	、		を	、		°	し	せ	に	本			
に			タ		撮	、	れ	っ	一		撮	二			て	た	強	を			
訊			っ		っ	娘	ぞ	笑	緒		り	人			、		引	持			
ね			て		て	三	れ	っ	に		始	は			ス		に	っ			
、			し		あ	人	右	て	の		め	ま			マ		引	て			
綾			て		げ	と	手	い	ぞ		た	た			イ		き	、			
が			み		、	丈	と	た	き		°	携			ル		倒	反			
領			た		撮	志	左	い	込			帯			マ		す	っ			
く			い		影	の	手	た	ん			で			ー		と	て			
の			ん		タ	四	で		だ			、			ク		、	いた			
を			す		イ	人	丈		レ			落			の		み	オ			
見			け		ム	で	志		イ			書			様						

「ふーん、ふーん」	ルの底でオチンチンを踏みつけてきた。	レイカが丈志の前に立つと、右足のミュー	「どれ、ぼちぼちいかせてやるか」	て、三人で大笑いしていた。	そして、二人は順番に二発づつビンタを入れ	丈志にはなく、レイカと綾に許可を求め、	「私も」	「あの、私もしていいですか」	「あゝすつきりする。楽しいー」	そして、また一発。	見ていた二人も一緒になって大笑いして、	ンタが丈志の右頬を襲った。	やっと笑うと、バチン！と予想外に強烈なビ	丈志のその子の視線があった。と同時にに	と当てた。	一番の背の低い子が、丈志の頬に手をそっ	って見たかったのよね」	「学校でビンタされてから、一度、人にや	てから許可した。
-----------	--------------------	---------------------	------------------	---------------	----------------------	---------------------	------	----------------	-----------------	-----------	---------------------	---------------	----------------------	---------------------	-------	---------------------	-------------	---------------------	----------

ガ				刺	け			っ			び	三		ポ	と		れ	る	に	
ク	う	「	そ	激	、	オ	「	ぱ	丈		自	人	左	ン	思	靴	ほ	口	振	丈
さ	め	う	し	を	ミ	チ	そ	詰	志		分	に	、	と	え	の	れ	か	っ	が
せ	き	う	て	与	ユ	ン	ろ	ま	の		の	も	右	ま	ば	底	「	ら	て	動
て	声	う	。	え	ー	チ	そ	っ	鼻		足	少	と	た	、	で		は	身	か
、	を	う		た	ル	ン	ろ	た	息		で	し	足	亀	竿	、		間	も	せ
亀	あ	・		。	の	を	い	も	が		踏	だ	を	頭	の	亀		抜	だ	な
頭	げ	・			先	見	く	の	荒		む	け	変	を	部	頭		け	え	い
か	、	・			端	な	か	に	く		と	変	え	蹴	分	を		な	、	体
ら	動	う			で	が	ら	な	なり		、	わ	、	り	を	ギ		声	パ	の
大	か	ー			、	ら	、	っ	、		仕	っ	途	、	転	ユ		が	ン	代
量	な	ー			竿	、	よ	て	漏		上	て	中	巧	が	ッ		漏	テ	わ
の	い	「			の	三	く	き	れ		げ	か	で	み	し	と		れ	ィ	り
精	体				部	人	見	い	て		に	、	綾	に	、	腹		て	を	に
液	を				分	の	て	た	く		か	レ	に	刺	そ	に		い	入	、
を	精				を	娘	な	。	る		か	イ	変	激	し	押		た	れ	頭
吹	一				小	に	よ		声		っ	カ	わ	し	、	し		。	ら	を
き	杯				刻	声	「		も		た	は	り	て	ポ	つ			れ	左
上	ガ				み	を			せ		。	再	、	い	ン	け		「	て	右
げ	ク				に	か							娘	た。		た		ほ	い	

「	校	レ	ん	た	「	は	く		プ		取	と			た	五		液		た
高	生	イ	で	ら	め	笑	な	撮	を		り	、	驚	「	°	人	そ	が	レ	°
校	と	カ	、	、	ち	っ	っ	ら	撮		出	他	き	ひ		の	れ	掛	イ	
っ	は	も	み	み	や	っ	て	れ	り		し	の	な	ゃ		目	も	か	カ	
て	思	綾	んな	んな	楽	て	きた	て	始		、	二	が	ー		に	あ	ら	は	
、	っ	も	こ	に	し	°	た	い	め		精	人	ら	凄		ダ	っ	ない	射	
あ	も	、	う	絶	か		オ	る	て		液	の	も	い		イ	、	い	精	
な	み	こ	ゆ	対	っ		チ	最	いた		を	ギ	、			レ	ど	う	の	
た	な	の	う	に	た		ン	中	°		垂	ヤ	一			ク	く	に	瞬	
達	か	金	の	自	です		ン	に			らす	ル	人			ト	ど	足	間	
何	っ	髪	喜	慢	°		を	、			オ	も	が			に	く	を	、	
歳	た	の	んで	し	月		見て	また			チ	一	携			晒	と	避	見	
の	°	三	見	ま	曜		、	ム			ン	緒	帯			さ	流	け	事	
「		人	ます	°	、		五	ク			チ	な	電			れて	れ	て	に	
		が	す	女	高		人	ム			ン	っ	話			しま	出	いた	足	
		、	か	子	校		の	ク			の	て	を			っ	る	°	を	
		ま	ら	高	行		女	と			ア	携	取			て	射		引	
		だ	「	な	っ		性	大			ッ	帯	り			い	精	き	、	
		高						き				を	出				を	精	精	

の	酔		事	る		ら		れ			解	か	子			の		二		
に	っ	「	に	の	口	丈	下	な	「		き	け	高	キ	「	未	「	十	三	「
、	ぱ	よ	折	一	に	志	半	い	あ		、	に	生	ャ	ど	来	日	歳	人	三
今	ら	か	り	言	入	が	身	で	り		帰	小	達	ー	う	は	本	く	と	人
日	っ	っ	畳	で	れ	礼	を	す	が		り	首	を	キ	で	明	の	ら	も	と
は	た	た	ま	、	ら	を	拭	、	と		仕	を	見	ャ	し	る	未	い	幼	も
女	親	ね	れ	丈	て	伝	き	こ	う		度	傾	送	ー	よ	い	来	だ	さ	高
子	父	、	入	志	い	え	、	ん	ご		を	げ	り	言	う	・	は	と	も	校
高	た	丈	っ	の	た	た	服	な	ざ		始	て	な	い	ね	・	知	は	多	二
生	ち	志	て	ズ	綾	°	着	体	い		め	答	が	な	「	の	らん	少	年	の
三	に	°	い	ボン	の		て	験	ま		た	え	ら	が		か	けど	残	十	六
人	絡	こ	た	の	パン		身	で	し		°	て	、	ら		な	、	し	六	才
組	ま	前	°	ポケ	ティ		支	きる	た			から	綾	遠			日本	て	は	で
だ	れ	なん		ット	は		度	なん	°			、	は	ざ			の	は	いた	す
か	て	て		に	、		を	て				丈	レイ	か			S	が	、	「
ら	大	、		、	あ		整	ん	信			志	カ	っ			M	綾		
ね	変	変		大	げ		え	て	じ			の	の	て			界	は		
「	だ	な					て	「	ら			縄	問	い						
	っ						か					を	い	女						
	た																			

続
く